



平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月2日

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7446 URL <http://www.t-kagaku.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 工藤 幸弘
 問合せ先責任者(役職名) 管理グループ経理部長(氏名) 小寺 伸哉 (TEL) 0172-33-8131
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績(平成28年10月1日~平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	15,653	1.0	133	9.4	150	10.8	116	59.3
28年9月期第2四半期	15,491	4.3	121	18.5	135	14.9	73	61.6

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 217百万円(204.7%) 28年9月期第2四半期 71百万円(△67.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	24.94	—
28年9月期第2四半期	15.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第2四半期	14,430	4,923	34.0	1,048.09
28年9月期	13,234	4,775	36.0	1,016.48

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 4,913百万円 28年9月期 4,765百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年9月期	—	0.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日~平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	4.7	315	59.2	345	48.3	220	75.5	46.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期2Q	4,800,000株	28年9月期	4,800,000株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	112,027株	28年9月期	112,027株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期2Q	4,687,973株	28年9月期2Q	4,697,973株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は横ばいで推移したものの政府による経済政策や日本銀行による金融緩和策などにより設備投資、雇用情勢は改善がみられ、穏やかな回復基調となりました。一方、米国新政権の政策動向や新興国経済の停滞などにより、依然として先行き不透明な状況が続いておりました。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境の変化に対応するため体質を強化し、積極的な営業活動をしてまいりました。

この結果、前年同四半期と比べ、売上高は、156億53百万円と1億61百万円(1.0%)の増収、営業利益は、1億33百万円と11百万円(9.4%)の増益、経常利益は、1億50百万円と14百万円(10.8%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益等で1億16百万円と43百万円(59.3%)の増益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(化学工業薬品)

化学工業薬品は、主力であります電子部品産業が堅調に推移し、ジェネリック医薬品製造業も増産体制の準備を進めておりましたが、前年同四半期を若干下回りました。また、同関連機器は、大学への大型案件及び追加受注等があり前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、全体で76億2百万円と6億2百万円(8.6%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は、6億14百万円と14百万円(2.5%)の増益となりました。

(臨床検査試薬)

臨床検査試薬は、前年同四半期に検体検査項目のスポット採用があったため前年同四半期を下回りました。また、同関連機器は、前年四半期に大型案件があったため前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、全体で62億58百万円と4億65百万円(△6.9%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、5億77百万円と16百万円(△2.8%)の減益となりました。

(食品)

食品は、円安による原料等の高騰や原料不足による製造量減少などありましたが、消耗品が増加し、前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、16億27百万円と43百万円(2.7%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は、1億35百万円と3百万円(2.8%)の増益となりました。

(その他)

その他は、りんご栽培農薬の増加などありましたが、栽培面積の減少や農薬使用回数の削減など厳しい状況が続いており、前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、1億64百万円と18百万円(△10.1%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、利益率が向上したことにより37百万円と6百万円(19.8%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、11億96百万円増加し、144億30百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、10億49百万円増加し、95億7百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億47百万円増加し、49億23百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

(資産)

資産の増加の主な要因は、現金及び預金が5億77百万円、商品が1億98百万円、受取手形及び売掛金が1億65百万円及び投資有価証券が1億49百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金が8億40百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の増加の主な要因は、その他有価証券評価差額金が98百万円及び利益剰余金が46百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、5億77百万円増加し、8億72百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は、6億68百万円（前年同四半期は、3億28百万円の取得）となりました。主な要因は、たな卸資産の増加額1億98百万円及び売上債権の増加額1億93百万円があったものの仕入債務の増加額8億90百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、得られた資金は、30百万円（前年同四半期は、58百万円の取得）となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出14百万円及び有形固定資産の取得による支出12百万円があったものの投資有価証券の売却による収入39百万円及び投資事業組合からの分配による収入13百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は、1億21百万円（前年同四半期は、1億55百万円の使用）となりました。主な要因は、配当金の支払額70百万円及び長期借入金の返済による支出34百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済につきましては、景気の回復は不透明であり、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想されます。第2四半期までの業績動向を踏まえ、平成28年11月14日に公表した通期予想につきましては、計画どおり推移しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	396,933	974,478
受取手形及び売掛金	7,121,914	7,287,163
電子記録債権	61,323	87,117
商品	824,861	1,023,049
繰延税金資産	52,137	53,675
その他	259,851	277,883
貸倒引当金	△981	△968
流動資産合計	8,716,039	9,702,399
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	394,532	381,462
土地	1,569,373	1,569,373
リース資産(純額)	153,405	142,234
その他(純額)	290,538	296,754
有形固定資産合計	2,407,850	2,389,825
無形固定資産		
のれん	32,448	16,224
その他	15,908	15,225
無形固定資産合計	48,356	31,449
投資その他の資産		
投資有価証券	1,125,334	1,275,221
リース投資資産	128,148	226,013
その他	846,966	845,005
貸倒引当金	△38,462	△39,254
投資その他の資産合計	2,061,986	2,306,986
固定資産合計	4,518,193	4,728,260
資産合計	13,234,233	14,430,660

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,630,880	7,471,114
電子記録債務	163,564	209,576
短期借入金	425,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	68,760	68,760
リース債務	104,208	113,870
未払法人税等	20,011	87,604
賞与引当金	60,050	54,850
その他	136,307	114,418
流動負債合計	7,608,782	8,550,193
固定負債		
長期借入金	120,900	86,520
リース債務	245,949	332,716
繰延税金負債	163,679	206,824
退職給付に係る負債	103,468	103,050
役員退職慰労引当金	174,233	179,404
その他	41,456	48,781
固定負債合計	849,687	957,297
負債合計	8,458,470	9,507,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	2,731,856	2,778,447
自己株式	△51,753	△51,753
株主資本合計	4,381,602	4,428,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410,505	508,869
退職給付に係る調整累計額	△26,891	△23,646
その他の包括利益累計額合計	383,613	485,222
非支配株主持分	10,546	9,753
純資産合計	4,775,763	4,923,169
負債純資産合計	13,234,233	14,430,660

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	15,491,639	15,653,173
売上原価	14,134,289	14,287,633
売上総利益	1,357,349	1,365,540
販売費及び一般管理費	1,235,356	1,232,036
営業利益	121,993	133,503
営業外収益		
受取利息	1,187	2,799
受取配当金	7,514	8,886
受取手数料	4,874	4,750
その他	4,314	2,232
営業外収益合計	17,891	18,669
営業外費用		
支払利息	3,740	1,835
持分法による投資損失	1	—
その他	576	195
営業外費用合計	4,317	2,030
経常利益	135,567	150,141
特別利益		
投資有価証券売却益	1,647	39,429
固定資産売却益	—	702
投資事業組合運用益	2,007	8,941
特別利益合計	3,655	49,073
特別損失		
固定資産除却損	344	—
固定資産売却損	601	—
特別損失合計	946	—
税金等調整前四半期純利益	138,276	199,215
法人税、住民税及び事業税	45,495	85,090
法人税等調整額	17,153	△2,052
法人税等合計	62,649	83,038
四半期純利益	75,627	116,177
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,254	△733
親会社株主に帰属する四半期純利益	73,372	116,910

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	75,627	116,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,150	98,364
退職給付に係る調整額	—	3,244
その他の包括利益合計	△4,150	101,609
四半期包括利益	71,476	217,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,327	218,579
非支配株主に係る四半期包括利益	2,149	△793

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	138,276	199,215
減価償却費	41,557	39,973
投資事業組合運用損益(△は益)	△2,007	△8,941
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,647	△39,429
引当金の増減額(△は減少)	△583	5,054
受取利息及び受取配当金	△8,702	△11,685
支払利息	3,740	1,835
持分法による投資損益(△は益)	1	—
固定資産除売却損益(△は益)	946	△702
のれん償却額	16,224	16,224
売上債権の増減額(△は増加)	△130,512	△193,461
たな卸資産の増減額(△は増加)	△197,855	△198,187
仕入債務の増減額(△は減少)	612,850	890,824
その他	△91,523	△19,732
小計	380,764	680,987
利息及び配当金の受取額	8,816	11,596
利息の支払額	△2,164	△1,835
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△58,564	△22,064
営業活動によるキャッシュ・フロー	328,852	668,684
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,560	△12,501
有形固定資産の売却による収入	40,098	3,671
投資有価証券の取得による支出	△9,863	△14,247
投資有価証券の売却による収入	4,000	39,909
投資事業組合からの分配による収入	13,730	13,350
その他	22,919	103
投資活動によるキャッシュ・フロー	58,323	30,284
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,180,000	2,370,000
短期借入金の返済による支出	△2,200,000	△2,365,000
長期借入金の返済による支出	△34,380	△34,380
配当金の支払額	△79,775	△70,240
その他	△21,479	△21,803
財務活動によるキャッシュ・フロー	△155,634	△121,423
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	231,540	577,545
現金及び現金同等物の期首残高	679,241	294,737
現金及び現金同等物の四半期末残高	910,782	872,282

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,000,546	6,724,324	1,584,200	182,567	15,491,639	—	15,491,639
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,000,546	6,724,324	1,584,200	182,567	15,491,639	—	15,491,639
セグメント利益	600,195	594,036	132,169	30,948	1,357,349	—	1,357,349

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,602,839	6,258,741	1,627,377	164,214	15,653,173	—	15,653,173
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,602,839	6,258,741	1,627,377	164,214	15,653,173	—	15,653,173
セグメント利益	614,938	577,672	135,860	37,069	1,365,540	—	1,365,540

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。